

平成 22 年度 事業計画

文化情報提供事業

県民に対して文化情報を提供するため、情報誌を発行するほかインターネットによる情報提供を行う。

また、管理している音楽堂の情報や友の会の情報も提供する。

1 情報提供事業

事業名	事業概要
(指定管理業務) (1) 情報誌発行事業	県内を中心とした文化事業等を幅広いジャンルで紹介し県民の文化活動の一助とする。また、県内に県内の文化情報を提供する。 情報誌「季刊ブンカ」 A4版 20ページ 年4回発行 各5,500部発行
(指定管理業務) (2) インターネット情報発信事業	インターネット人口が増加し、ウェブサイトによる情報発信が有力な広報手段となっていることから、ウェブサイトによる情報の発信を強化する。 ・公演空席照会システムおよびイベント情報システムの保守

2 普及広報事業

事業名	事業概要
(指定管理業務) (1) インフォメーションセンター 整備事業	音楽に関するCD、DVD、ビデオ、雑誌等のライブラリーを整備する。 ・月刊専門誌の購入、CD、ビデオ等の購入と装備
(指定管理業務) (2) 貸館促進広報事業	「ハーモニーホールふくい」の施設の情報を提供し、利用の促進を図る。 ・広報用、貸館用しおり等の作成

文化活動促進事業

県民自ら行う文化活動への支援のほか、子供たちの音楽鑑賞や福井県にゆかりの深い楽器教室などを開催することで音楽への理解を深める。

また、パイプオルガンの普及と県内演奏家の育成を図る。

さらに、ホール運営ボランティアなどのスタッフの育成も行う。

1 活動支援事業

事業名	事業概要
文化活動後援	地域の文化振興を目的として、文化活動に対して後援を行う。 年間件数 110件程度

2 教育普及事業

事業名	事業概要
(指定管理業務) (1)セミナー等実施事業	本県にゆかりの深い楽器であるハープ、マリンバと弦楽器に親しむきっかけづくりとなる「ふれあい教室」、弦楽器奏者を育成する「弦楽器教室」、音大生やセミプロなどを対象とした「夏期マスターコース」まで一貫した演奏家および愛好家の育成システムを構築するとともに、パイプオルガンの活用を促進するための養成講座を実施し、本県の音楽文化振興を図る。 ・ ふれあい教室 対象楽器 アイリッシュハープ、サウルハープ、マリンバ、チェロ、ヴァイオリンの5部門 対象者 5才から中学生 ・ 初級コース 対象楽器 ハープとマリンバを隔年実施 (本年はマリンバ) 対象者 原則、高校生以上

(指定管理業務)

(2)パイプオルガン普及啓発事業

- ・ 夏期マスターコース
国内最上級講師、国外講師による3日程度の集中講義を実施
対象楽器 ハープ、マリンバを隔年実施
(本年はマリンバ)

 - ・ オルガニスト養成講座
パイプオルガンの活用を促進するため、音楽を学ぶ若者がパイプオルガンに触れる機会を提供したり、県内オルガニストの演奏スキルアップを図ったりする講座
対象楽器 パイプオルガン
対象者 中高大生でピアノ演奏に優れた能力を持つ者、また、オルガニスト養成講座修了者または同等のレベル以上の技量を有すると認められる者

 - ・ 福井弦楽アンサンブルセミナー(ジュニア)
オーケストラやアンサンブルの弦楽器奏者の拡充を目指して、弦楽器教室を開催する。
対象楽器 ヴァイオリン、チェロ等
対象者 小学3年生程度から20歳程度まで一定レベル以上の技量を有する者
- パイプオルガンを使用して、県民の音楽文化レベルの向上、演奏者の人材育成およびオルガンの普及啓発を図る。
- ・ 県立音楽堂のパイプオルガンの特色を踏まえ、歴史、構造、魅力等についてそのすばらしさを広く知ってもらうためのコンサートを実施
9/25 ワンコインコンサート&「観月の夕」
また、「ワンコイン・オルガンコンサート」をクリスマスとバレンタインの時期に開催。若い世代の県民にオルガン演奏の鑑賞とオルガン見学ツアーを体験していただき、オルガンを身近に感じてもらう。

<p>(県受託事業) (3)ちびっこコンサート体験事業</p>	<p>児童・園児が生音楽に直に接することができる公演として、「ハーモニーホールふくい」においてコンサート、パイプオルガン演奏、楽器体験教室を開催する。</p> <p>開催回数 年間20回</p>
<p>(県受託事業) (4)ふれあい文化子どもスクール開催事業</p>	<p>県内の小学5年生(約8,000人)を対象に、県立音楽堂でオーケストラと直接ふれあい、子どもが楽しめる参加体験型コンサートを開催する。</p> <p>開催回数 年間7公演</p>

3 人材育成事業

事業名	事業概要
<p>(指定管理業務) (1)ボランティア設置</p>	<p>県立音楽堂に対する関心と愛着を高めるとともに、館のPRや業務の手助けをしてもらうボランティアの運営</p> <p>・登録人員 30名程度</p>
<p>(指定管理業務) (2)レセプションист設置</p>	<p>来館者に快適かつ安全にコンサートを楽しんでもらうため、座席案内や緊急時の避難誘導などを行う専門的な接客研修を受けたレセプションистの運営</p> <p>・登録人員 50名程度</p>

公演事業

文化や音楽に関する県民の理解を高めることを目的に、文化公演、音楽公演等を開催する。

1 文化公演事業

事業名	事業概要
ふるさとの日記念事業	「ふるさとの日」を記念し、福井県と共催で記念事業を実施する。 開催日 2月7日

2 音楽公演事業

事業名	事業概要
(指定管理業務) 自主公演事業	<p>県民に愛されるホールとしての成長をさらに期するため掲げた、「マイホール」というスローガンに基づき、「7つのメロディ」という具体的に項目立てた目標に則り、音楽を中心とした芸術文化振興の先導的かつ中心的な役割を果たすため、優れた音楽公演事業をはじめとする各種自主事業を積極的に実施する。</p> <p>公演を、次の4つのジャンルに区分し、概ね月に2公演程度の割合で開催する。</p> <p>特別鑑賞型(国際的に評価の高い海外のオーケストラなどによる極めて質の高い公演)</p> <p>鑑賞型(国内外のオーケストラを始め優れたソロや室内楽、邦楽などの質の高い公演)</p> <p>参加創造型(県民・地域との連携による創造性の高い公演)</p> <p>普及啓発型(音楽堂になじみがないと感じている県民を招き入れる公演)</p> <p>特に、全国発信に値する取組みが県民からもより多くの応援をしていただけるよう、若手奏者育成の事業を新しい視点から組み立てるため、昨年</p>

	から『越のルビー音楽祭』の名の下に再構築した事業を本年も引き続き実施し、本県音楽文化の一層の向上を図る。
--	--

地域文化発掘継承事業

ふるさと福井の文化を継承し、これを支えて努力している人や、地域社会の中で個性豊かな生活文化の創造と普及のため地道な活動を続けている人を顕彰する。

1 顕彰事業

事業名	事業概要
野の花文化賞 (隔年実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・第19回 野の花文化賞 ・表彰時期 「ふるさとの日(平成23年2月7日)」

管理運営業務

事業名	事業概要
1 財団管理	
(1) 人件費	・財団プロパー職員人件費
(2) 管理運営費	・財団の運営に要する事務費
(指定管理業務)	
2 音楽堂管理	
(1) 人件費	・財団職員人件費
(2) 施設管理運営費	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理に要する経費 ・管理運営のための事務費